

NY マーケットレポート (2016年8月25日)

NY 市場では、序盤に発表された米失業保険申請件数が3週連続で減少したことや、米耐久財受注が3ヵ月ぶりのプラスとなり、昨年10月以来9ヵ月ぶりの大きな伸びとなったことを好感して、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。その後は、ジャクソンホールでのイエレンFRB議長の講演を控えて、様子見ムードが強まり、終盤まで小動きの展開が続いた。

2016年8月25日 (木)

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	100.59	100.62	100.45
EUR/JPY	113.45	113.58	113.37
GBP/JPY	132.65	132.79	132.43
AUD/JPY	76.60	76.62	76.42
NZD/JPY	73.45	73.47	73.28
EUR/USD	1.1280	1.1297	1.1271
AUD/USD	0.7616	0.7621	0.7602

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18448.41	-33.07
S&P500	2172.47	-2.97
NASDAQ	5212.20	-5.49
日経225 (CME)	16505	-35
トロント総合	14630.72	+4.48
ボルサ指数	47734.20	-9.41
ボエスバ指数	57722.14	+4.25

8/26 経済指標スケジュール

08:30	【日本】8月消費者物価指数
14:00	【シンガポール】7月鉱工業生産
15:00	【ドイツ】9月GfK消費者信頼感調査
15:45	【フランス】2Q GDP
15:45	【フランス】8月消費者信頼感指数
17:00	【欧州】7月マネーサプライM3
17:30	【英国】2Q GDP
17:30	【英国】2Q個人消費
17:30	【英国】2Q総合事業投資
17:30	【英国】6月サービス業指数
21:30	【米国】2Q GDP
21:30	【米国】2Q個人消費
22:00	【メキシコ】7月貿易収支
23:00	【米国】8月ミンガン大学消費者信頼感指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1324.60	-5.10
NY 原油	47.33	+0.56
CMEコーン	332.00	-4.25
CBOT 大豆	975.50	-29.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.79%	0.76%
3年債	0.89%	0.87%
5年債	1.16%	1.14%
7年債	1.42%	1.40%
10年債	1.58%	1.56%
30年債	2.27%	2.25%

8/26 主要会議・講演・その他予定

・イエレンFRB議長 講演

出所：SBILM

NY 市場レポート

＜ 要人発言 ＞

ジョージ・カンザスシティ連銀総裁～インタビュー

- ・「金利を引き上げる適時は近い」
- ・「過剰な辛抱強さは正当化されない」
- ・「CPI 上昇は、緩和解除の余地を当局に付与」
- ・「高金利も景気を冷やすことも必要ない」

◀ 経済指標の結果 ▶

新規失業保険申請件数 26.1 万件 (予想 26.5 万件・前回 26.2 万件)

失業保険継続受給者数 214.5 万人 (予想 214.8 万人・前回 217.5 万人)

◀ 新規失業保険申請件数・継続受給者数 ▶

	申請件数	前週比	4週移動平均	受給者数	受給者比率
16/08/20	261,000	-1,000	264,000	*****	*****
16/08/13	262,000	-4,000	265,250	2,145,000	1.6%
16/08/06	266,000	-1,000	262,750	2,175,000	1.6%
16/07/30	267,000	+1,000	259,750	2,160,000	1.6%
16/07/23	266,000	+14,000	256,500	2,141,000	1.6%
16/07/16	252,000	-2,000	257,500	2,144,000	1.6%
16/07/09	254,000	0	259,000	2,132,000	1.5%
16/07/02	254,000	-16,000	264,750	2,153,000	1.6%
16/06/25	270,000	+12,000	267,250	2,117,000	1.5%
16/06/18	258,000	-19,000	266,750	2,168,000	1.6%
16/06/11	277,000	+13,000	269,250	2,139,000	1.6%
16/06/04	264,000	-4,000	269,500	2,162,000	1.6%

受給者数は集計が1週間遅れる

米失業保険申請件数は、前週比-0.1 万件の 26.1 万件となり、3 週連続で減少した。そして、節目となる 30 万件を 77 週連続で下回っており、1970 年以來の連続記録。申請件数の 4 週移動平均は、前週比-1250 件の 26.4 万件。また、集計が 1 週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比-3 万人の 214.5 万人となり、3 週ぶりのマイナスとなった。受給者総数の 4 週移動平均は、前週比+250 人の 215 万 5250 人。受給者比率は、前週比横ばいの 1.6%だった。

◀ 経済指標の結果 ▶

7 月米耐久財受注 (前月比) 4.4% (予想 3.5%・前回 -4.2%)
 前回発表の-3.9%から-4.2%に修正

7 月米耐久財受注 [除輸送用機器] 1.5% (予想 0.4%・前回 -0.3%)
 前回発表の-0.4%から-0.3%に修正

経済指標データ

◀ 米耐久財受注 ▶

	7月	6月	5月	4月	3月	2月
耐久財新規受注	4.4	-4.2	-2.9	3.2	2.0	-3.3
輸送機器除く	1.5	-0.3	-0.5	0.3	0.3	-1.5
国防関連除く	3.8	-4.0	-1.6	3.6	-0.5	-2.4
資本財	12.7	-12.3	-6.0	7.5	7.8	-10.5
輸送機器	10.5	-11.4	-7.1	8.5	5.3	-6.7
総受注残	-0.1	-0.9	0.0	0.6	0.0	-0.5
総在庫	0.3	-0.1	-0.4	-0.4	-0.2	-0.3

7 月の米耐久財受注は、前月比+4.4%の 2289 億 400 万ドルと 3 ヶ月ぶりのプラスとなり、昨年 10 月以来 9 ヶ月ぶりの大きな伸びとなった。幅広い分野で増加したことが全体を押し上げる要因となっており、低調だった設備投資が活発になってきた可能性が指摘される。ただ、2 ヶ月連続大幅低下となった反動の側面もある。

- ①輸送機器は、+10.5%と昨年 10 月以来の高水準となり、変動の激しい民間航空機が+89.9%、国防関連の航空機が+20.3%、自動車・同部品は横ばい。輸送機器を除いた受注は+1.5%で 3 ヶ月ぶりのプラスとなり、今年 1 月以来の高水準となった。
- ②輸送機器以外の主な業種では、一次金属が+1.4%、金属製品が+1.5%、一般機械が+1.6%、電算機・電子製品は+3.6%と昨年 3 月以来の大きな伸び、電機・家電も+2.6%と昨年 2 月以来の大きな伸び率となった。
- ③資本財は+12.7%となり、資本財から国防関連を除いた受注は+10.2%。民間設備投資の先行指標となる非国防資本財から航空機を除いたコア受注は+1.6%と 2 ヶ月連続のプラス、国防関連は+35.7%となった。



出所 : Net Dania

◀ 経済指標の結果 ▶

8月マークイット米国サービス業PMI 50.9 (予想 51.8・前回 51.4)

◀ 経済指標の結果 ▶

2Q メキシコ経常収支 -78.52 億 USD (前回 -75.97 億 USD)
 前回発表の-69.91 億 USD から-75.97 億 USD に修正

◀ 要人発言 ▶

カプラン・ダラス連銀総裁

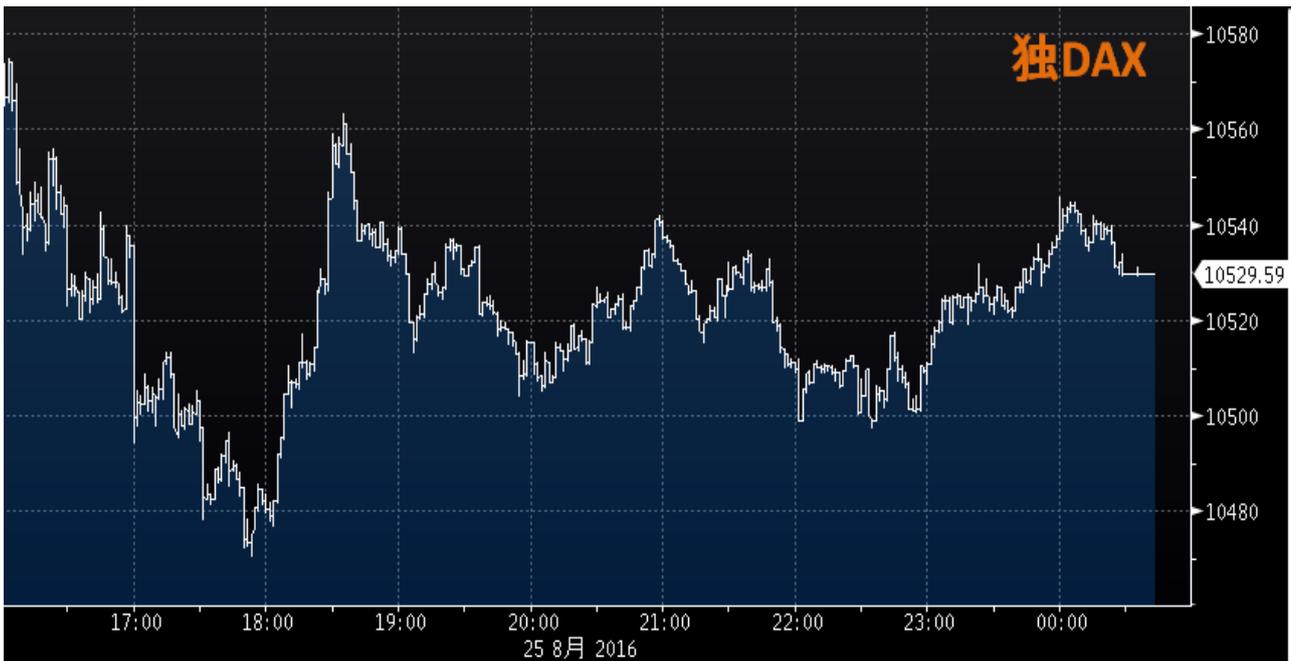
- ・「自然利子率は低下してきている」
- ・「FOMC の決定は単一の雇用統計だけに基かない」
- ・「緩和を解除する論拠は強まっている」
- ・「遠すぎない将来に行動する方向に動きつつある」
- ・「2%のインフレ目標、引き上げには抵抗を感じる」

◀ 経済指標の結果 ▶

8月カンザスシティ連銀製造業活動指数 -4 (予想 -2・前回 -6)

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、主要株価は下落となった。ドイツの企業景況感指数が予想に反して悪化したことが嫌気され、独 DAX は反落となった。一方、英 FT100 は医薬品株が大きく売られたことが影響し、続落となった。

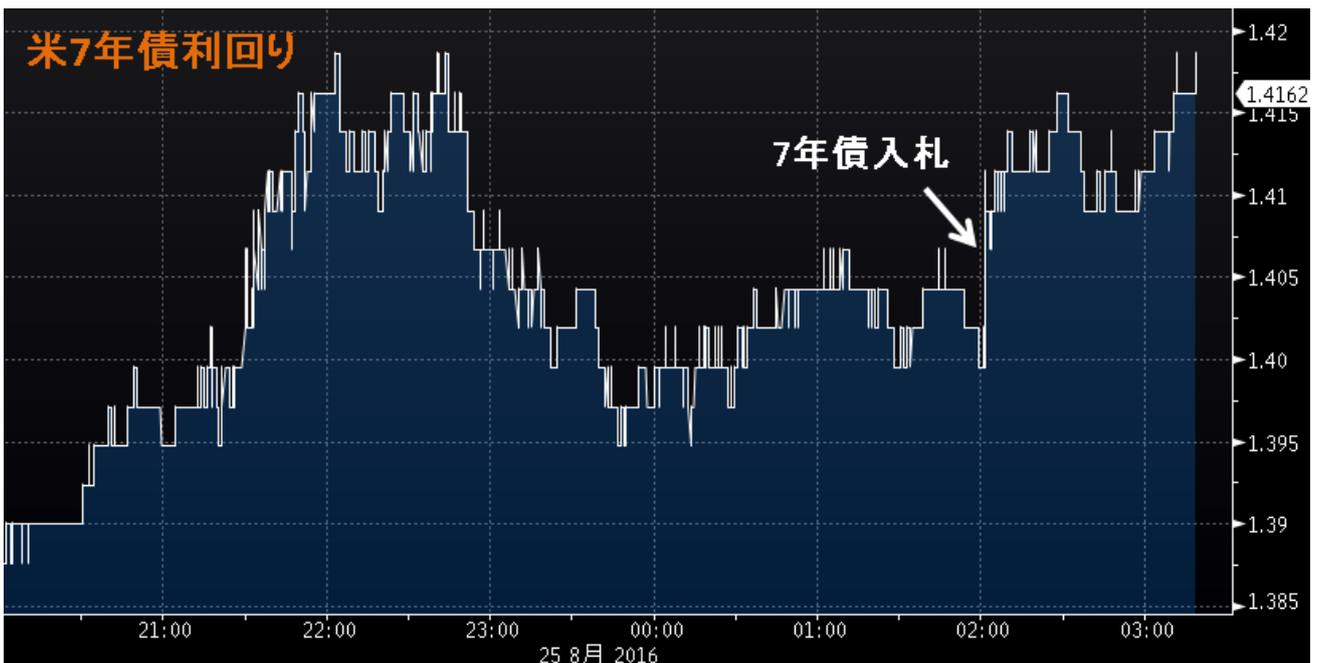


出所：Bloomberg

《米財務省 7年債入札》

最高落札利回り・・・1.423%（前回 1.340%）
 最低落札利回り・・・1.288%（前回 1.200%）
 最高利回り落札比率・・・1.65%（前回 55.12%）
 応札倍率・・・2.38倍（前回 2.51倍）

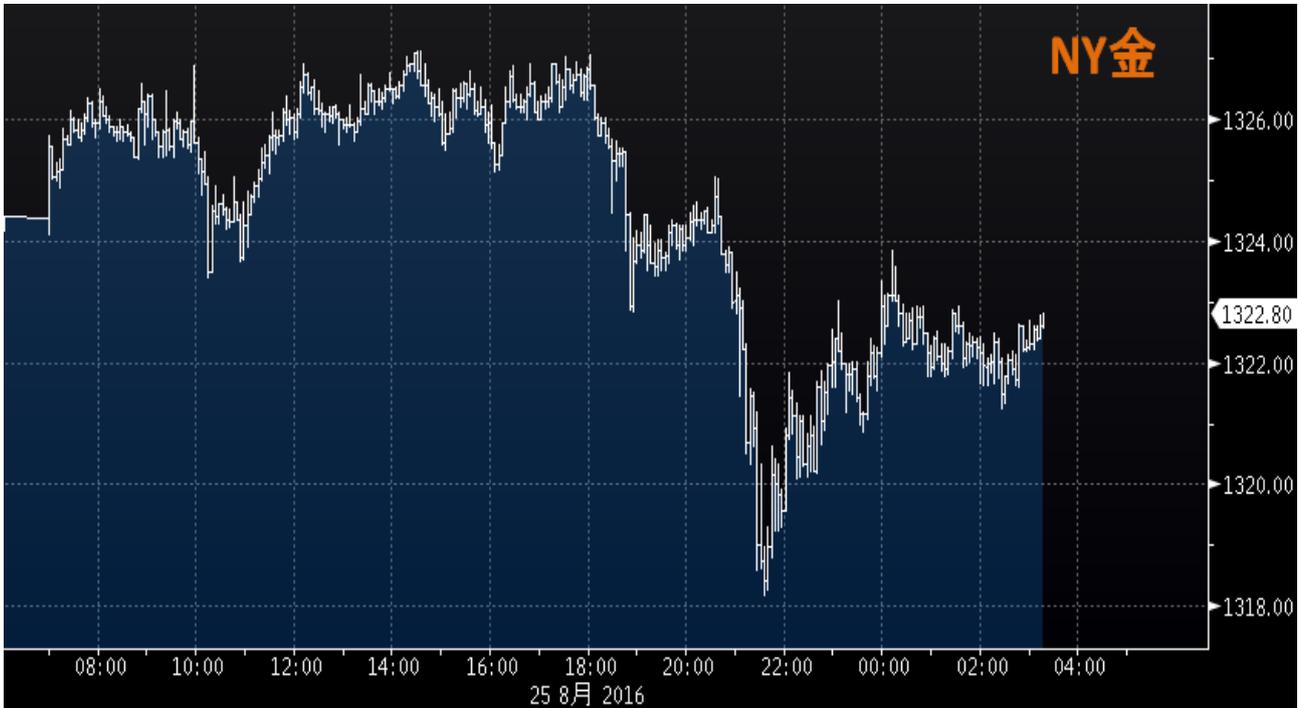
米財務省が実施した 280 億ドルの 7 年債入札は、需要低迷を背景に、最高落札利回りは市場予想を上回った。また、応札倍率が 2 月以来 6 ヶ月ぶりの水準に低下した。落札比率は、プライマリーディーラーが 31.28%、直接入札者が 10.39%、間接入札者が 58.33%。落札/応札比率は、プライマリーディーラーが 18.94%、直接入札者が 74.4%、間接入札者が 98.37%



出所：Bloomberg

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、7 月の米耐久財受注や失業保険申請件数が市場の予想より良い内容となったことで、米国の早期追加利上げに対する警戒感が強まり、売りが優勢となった。終値ベースでは、7 月下旬以来約 1 ヶ月ぶりの安値水準となった。ただ、イエレン FRB 議長の講演を前に値動きは限定的となった。



出所：Bloomberg

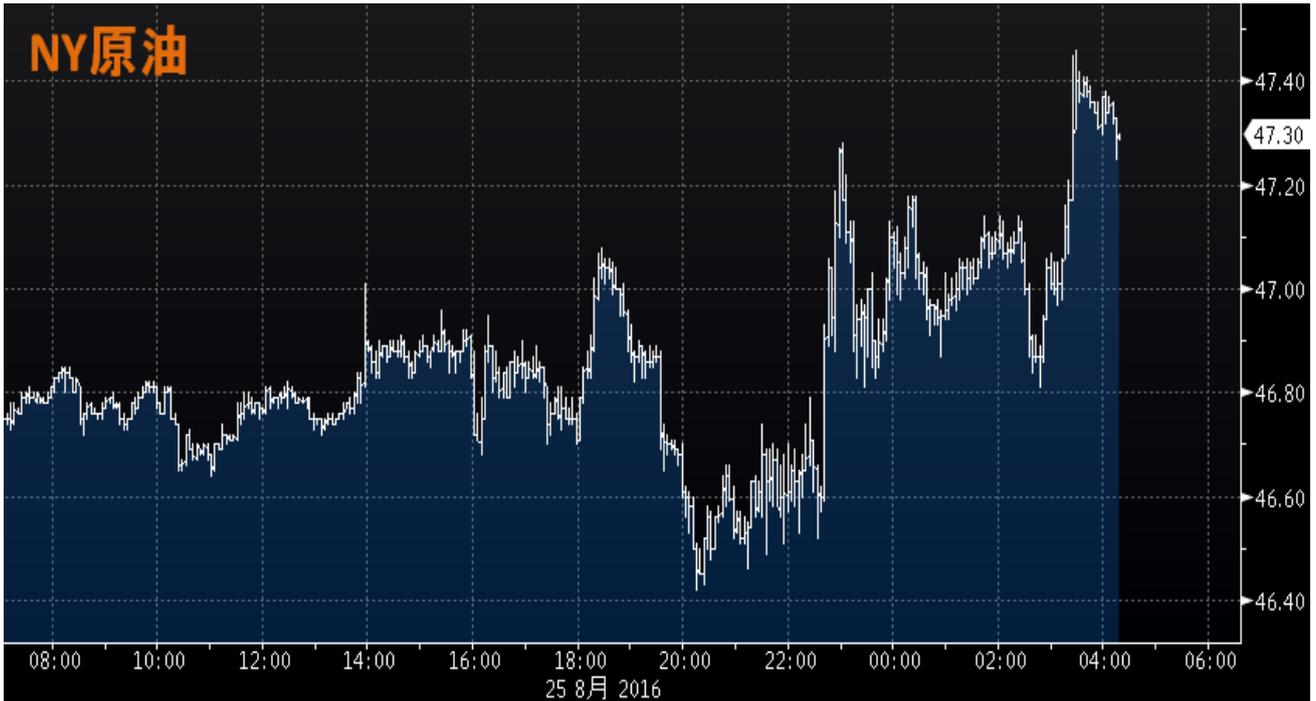
◀ 要人発言 ▶

カプラン・ダラス連銀総裁

- ・「当局の行動がドルに与える影響を注視する必要」
- ・「利上げに際して辛抱強い姿勢でいることは可能」
- ・「インフレ目標は、進展が苛立たしいほどに遅い」
- ・「米国でのマイナス金利は、金融システムを損なう」

◀ NY 原油市場 ▶

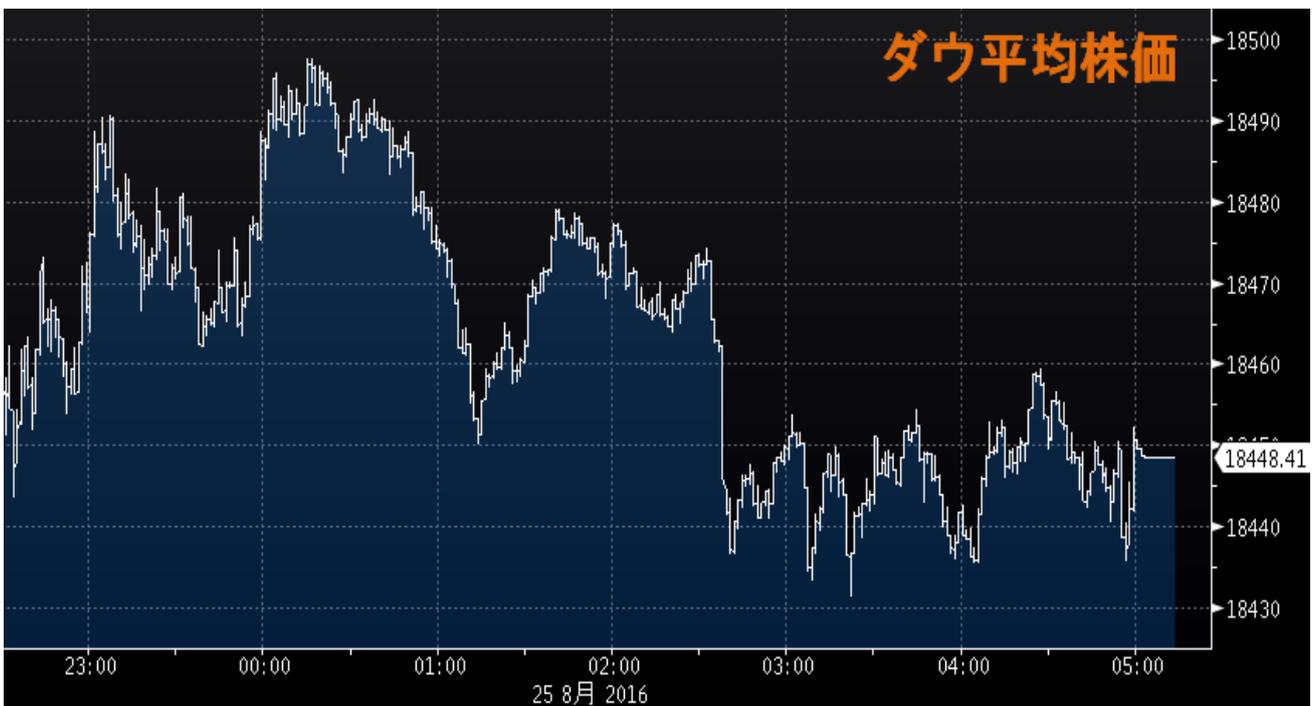
NY 原油は、ドルがユーロなどに対して下落したため、ドル建て原油の割安感から買い優勢となった。ただ、主要産油国による増産凍結合意の実現に懐疑的な見方もあり、上値の重い動きとなる場面もあった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

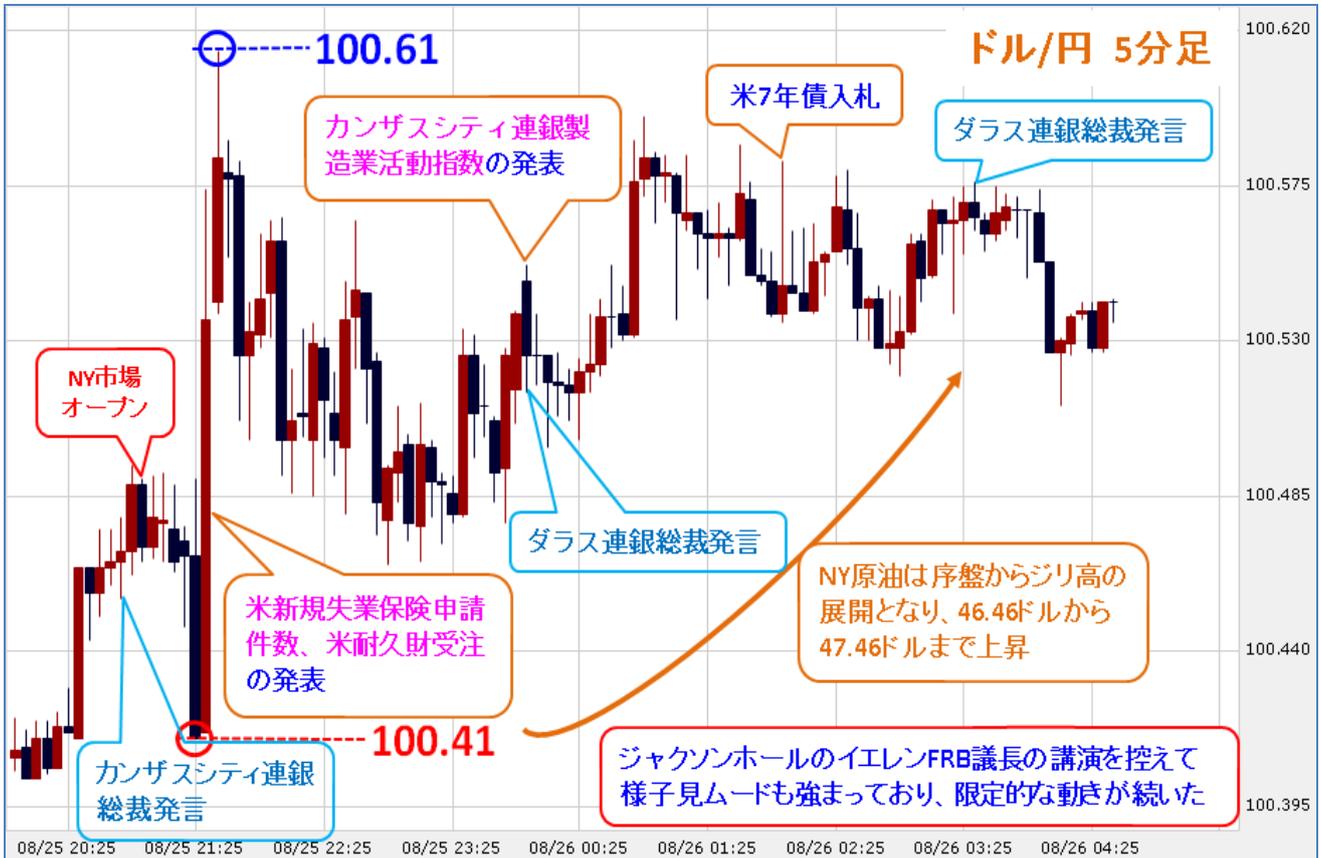
米株式市場は、7月の米耐久財受注が市場予想を上回ったことで米経済の先行きを期待する買いが出る一方、米利上げ期待を意識した売りも出て、売り買いが交錯する動きとなった。また、イエレンFRB議長の講演を26日に控えて様子見ムードが強く、積極的な取引を手控える動きもあり、主要株価は終盤まで小動きの展開が続いた。



出所：Bloomberg

◀外国為替市場▶

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標の結果を受けて、ドルが堅調な動きとなった。ただ、その後はイエレン FRB 議長の講演を控えて様子見ムードも強まっており、終盤まで小動きの展開が続いた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。